令和6年度 第3回平塚市博物館協議会 次第

令和7年3月21日(金)午前10時平塚市博物館特別研究室

- 1 開会
- 2 議事
 - (1) 報告事項について
 - ・令和6年度秋期特別展について
 - ・第24回博物館文化祭について
 - ・ホームページ・YouTube・SNS について
 - ・平塚市史 年表編の刊行について
 - (2) 令和7年度予定について
 - ・令和7年度当初予算について
 - ・令和7年度事業計画について
 - (3) その他
 - 事務連絡等
- 3 閉会
 - ※会議終了後、春期特別展の展示をご案内いたします。

令和6年度秋期特別展「お家をまわる子育て地蔵」開催報告

会 期 2024(令和6)年10月19日(土)~12月22日(日) 会期:56日間

休館日:月曜日(祝日の場合は翌火曜日)

主 旨

かつては神奈川県内のほぼ全域で、地域内の家々を「回り地蔵」といって地蔵が回っていた。平塚市内でも回り地蔵の習俗は行われており、これらは伊勢原市三ノ宮にある保国寺から出た回り地蔵である。子育て地蔵として信仰され、地域の子どもが元気に育つように地域内を回され信仰されてきた。このほかにも、かつては地域ごとに講が結成され、講で使う掛け軸などが宿を務める家を回っていた。講では、神様が描かれた掛軸をかけてお供え物などをした。また、平塚市域周辺では、徳本上人ゆかりの大会念仏という念仏講が結成され、地域から地域へと徳本上人像や掛軸などが回されていた。本展示では、保国寺から出た回り地蔵や講の道具を中心に家々を回っていた神仏を展示し、平塚市域に住む人々の身近な信仰の形を紹介した。

入 館 者

		入館者数		開館	こどもの	平均入館
	大人	こども	合計	日数	割合	者数/1日
10 月	1,132	343	1,475	11	23.3%	134
11月	2,892	1,166	4,058	26	28.7%	156
12月	1,948	889	2,837	19	31.3%	149
期間計	5,972	2,398	8,370	56	28.6%	149

(参考)

R6 夏(生物)	5,964	3,535	9,499	40	37.2%	237
R5 春(歴史·民 俗·考古)	7,294	3,148	10,442	53	30.1%	197
R5 秋(天文)	5,751	2,064	7,815	64	26.4%	122

関連行事 記念講演会 会場:博物館講堂

第1回「廻り地蔵とその周辺~「めぐり」のフォークロア~」 (参加59名)

講師:松崎憲三(成城大学名誉教授)

日時:11月9日(土)13時30分~15時

第2回「平塚市の回り地蔵」 (参加35名)

講師:福田麻友子(当館学芸員)

日時:12月1日(日)10時~11時30分

展示解説会

第1回 10月 26日(土)10時~11時 (参加 7名) 第2回 12月15日(土)13時~14時 30分 (参加 22名)

印 刷 物 図録「秋期特別展 お家をまわる子育て地蔵」

A4 判 96 頁 カラー 1,000 部 頒布価格 ¥600

開催期間内頒布部数:235部

(参考)R5 秋:187 部、R5 春:487 部、R6 夏:48 部 ポスター B3 判 カラー 400 部 リーフレット A4 判 カラー 5,000 部

担当者評価

今回の展示は、大人、特に50代以上とみられる来館者の利用が多く、アンケートの結果も50代以上が半数を占めている。展示した資料は借用した資料がほとんどで、回り地蔵や講の道具、大会念仏の道具などは習俗が行われていた当時も関わっていた人しか触れることがなかったため、それらが一度に見られるということが来館者の興味を引いたと考えられる。また、資料を借用した寺院へポスターの掲示をお願いしたため、それを見て住職に聞いて来館したという人も一部いた。

各講演会や展示解説にも多くの人が参加し、会期中の図録の販売数も多かった。アンケートにも「このような信仰が身近にあったとは知らなかった」という回答がいくつか見られ、平塚市及びその周辺地域に住んでいる人々の身近な信仰を知ってもらうという本展示の企画意図は概ね達せられたと考える。

アンケートの結果

回 収 枚 数 62 枚

回答者の住所 平塚市内 33 名、平塚市外神奈川県内 17 名、神奈川県外関東地方 8 名、関東以外 1 名、 (n=60) 海外 1 名

回答者性别男38名、女23名、

(n=61)

	小学生		中等	中学生		高校生		大学生	
回答者年齡	答 者 年 齢 4 名		1名		0名		4名		
	~19 歳	20代	30 代	40代	50代	60代	70代	80 代以上	
(n=59)	6名	4名	1名	9名	10名	15 名	10名	4名	

情報の入手先 広報ひらつか 18 名、博物館のホームページ 11 名、あなたと博物館 2 名、新聞等 2 名、 (複数回答可) ポスター11 名、口コミ 1 名、SNS 7 名、その他 13 名

(n=65)

おもしろさ 興味ぶかさ (n=61)

とても おもしろい	やや おもしろい	ふつう	やや つまらない	つまらない
50名	9名	0名	1名	1名
82%	14.8%	0%	1.6%	1.6%

難しさ とても まあ 99 とても ふつう よくわかる わかる むずかしい むずかしい (n=62)34 名 22 名 3名 0名 3名 54.8%35.5% 4.8%4.8%0%

もう少し 総合評価 とても良い ふつう 良くない まあ良い (n=62)45 名 13名 2名 0名 2名 72.6%21%3.2% 0% 3.2%

ご意見・ご感想 (一部抜粋)

- ・ 石仏が特に好きなので、入ってすぐ左手の石仏が気になりました。僧侶でしょうか?万田在住なので、身近に こんな仏像があったんだなと、面白く拝見しました
- ・ 地蔵を背負い家を回る文化が自分の住んでいる地域の近くにあるのがおどろきでした。
- ・大変見ごたえのある展示でした。実物の展示が多かったことでビジュアルとして楽しむことができました。ただ、厨子に納められた地蔵を照らすライトが下からとなっていたため、詳細な像容が影になって見えづらいのが残念でした。またタイトルとは異なる講の展示が多くタイトルで来館された方は「?」になるかもしれません。
- ・ 素敵な展示をありがとうございました。昔の方々の思いなども感じることができました。ぜひ説明を入れて動 画公開もしていただきたいです。足を運ぶことも大切ですが、多くの方々に見て知っていただきたいです。
- ・掛け軸をそのまま出してしまって大丈夫なのか勝手ながら心配になった。説明がわかりやすかった。
- ・展示スペースを広くしてほしい(市長へ) 平塚市博物館の活動がとても良い。テーマや市民への文化、歴史、考古など興味深い、学芸員の熱意が伝 わってくる。
- ・子供を抱えた地蔵菩薩の彫刻を初めて拝見しました。非常に精こうに製作され銅造だと思い感心しました。
- ・県外からきましたが、とても興味深かったです。
- ・ 「子育て地蔵」展も同時に開催されていたことを現地で知り、こちらの方が(来て)良かった。
- ・私の実家でも昔行なっていました。平塚に来て長いけど始めて知りました。
- ・ 録音が流れているのがとてもよかった。抑ようがどのように伝承されているのか。地域によって異なるのか、 知りたくなりました。
- ・ 廻り地蔵の話は聞いていたが、これほど広範囲で、しかも永い間(最近まで)行われていたとは、授けられ安 産し、すくすく育つ人の願いが良く判った。
- ・ 芸術家岡本太郎氏は、生前日本国内の村々を巡り、奇祭や慣習を調べ歩いていました。書籍になっています。その中に「おしらさん」と呼ばれた巡り地蔵がありました。岡本さんの本を読んでいたので、平塚にもこのような習慣があったのかと驚き、興味がわきました。
- ・ きこえにくいので、ビデオに字幕起こしが用意されているとうれしい
- ・ 子どもじゃわかんない
- ・ こちらの博物館の特別展は毎回興味深い内容で、今回は回り地蔵を扱うということで来館しました。今後も 是非平塚に関係のある内容を企画してほしいと思います。
- ・時間不足でした。ゆっくりと勉強したいと思いました。
- まわる地蔵のことをはじめて知りました。とてもよくわかりました。
- ・ 子供を守る地蔵さん、昔のそのままな仏の展示大変であったと思いますが、現在の時代子供の成長願う親と して、ありがたく思いました
- ・ このような企画は、すばらしく思い出深い事業ですね。地蔵様という(身近な仏様)展示物も大変であったと 思いますが、また5年~10 年に開催してください。
- ・ 家をまわる子育て地蔵が他の県で行われていることを昔、TV でみたことがありましたが、神奈川県内でも行われているとは知りませんでした とてもおもしろかったです
- ・ 「お家を回る」って何なのか解らないのでますます興味を抱き、来館しました。来てよかった!これからも伝え 続けてください。人々の信仰心が生活と密着してることをしりました。大切にしたいです。
- ・現在子育て中ですが、移り住んで 15 年、このような文化がある事、知らずにおりました。どこか遠くの町の文化とばかり思っておりました為大変興味がわき、現代ではうすくなりつつある信仰に継承と保存を強く願います。ありがとうございました。
- ・むずかしかった

回 収 枚 数33枚

回答者の住所(n=33)

平塚市内 18名、県内平塚市外 12名、県外 3名

回答者性別男19名、女11名

(n=30)

回 答 者 年 齢 ~19歳 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80 代以上 (n=33)0名 0名 1名 2名 4名 5名 10名 11名

情報の入手先	広報ひら	博物館	あなたと	ポスターリー	新聞等	口コミ	その他
(複数回答可)	つか	HP	博物館	フレット			
(n=35)	6名	8名	3名	5名	1名	5名	7名

おもしろさ かみ やや とても ふつう 興味ぶかさ おもしろい おもしろい つまらない (n=30)20名 9名 1名 0名 66.7% 30% 3.3% 0%

ご意見・ご感想 (一部抜粋)

- ・ 今後も廻り地蔵の調査を続けてほしいです。丸島の地蔵は赤ちゃんをだいてません。昔は大覚院で修理等しているそうでだいぶ変わってしまったかと思います。以前はしゃくじょうをもっていましたが、いつのころから無くなってしまいました。私の家は丸島の旧家ではありませんが大覚院のだん家になった際に声をかけてもらい廻してもらえる事になり、30年以上廻ってきています。
- ・ とてもおもしろいテーマでした。お話も分かりやすかったです。どんな時代も、大切な子供達を思う気 持ちが伝わってきます。
- ・ 今回の企画でまわり地蔵が平塚にもあったことにおどろきました。自分の家にまわってきたら…と思う と大変なことだなと思いますが、とても興味深い文化だなと思いました。なかなかお寺は行きにくいで すが、今回はこちらで見れるものがありうれしいです お顔をよく見ていたいと思います。
- ・ 市内巡行の12体の地蔵について、丁寧に楽しく説明していただいた。市内に密集しているのは孝戒のおかげ(?)ですかね。その巡行を今に守っている人々に敬意を示したいです。有難うございました。
- ・ 栗窪を回ってたお地蔵様の「お地蔵様塗替寄附金帳」右から2番目の「石川健之助」は私の曽祖父の 名前です。貴重なものとはわかってますが、しっかり広げて見せてもらうことはできますか?
- ・ 台座の裏にかかれた記述から地蔵の由来・変遷についてていねいに調査されていたので、とても判り やすかった。
- ・ 廻り地蔵にかかわって家々との関係性はどうなっているか?どう役立ててられているかなど、コミュニティ形成について知りたいです。
- ・ 展示の地蔵の顔を見比べて欲しいという観察ポイントはありがたい
- ・ まだ「回り地蔵」がある地区も存在するようです。昔の信仰が時間とともに変化しながらまだ続いているのが非常に興味深いと思いました。よそから来た者には少しうらやましいが、こうして参加できることに感謝しています。

「第24回博物館文化祭 - ワーキンググループ活動報告 - 」開催報告

- 1)会期 令和7年2月7日(金)~2月27日(木) 会期18日間
- 2)展示会場 平塚市博物館 特別展示室
- 3)主 催 平塚市博物館
- 4)主 旨 博物館で活動する会員制ワーキンググループ(以下WG)が、活動成果の発表を通じて相互の交流を深めるとともに、市民に広くその活動内容を紹介することを目的に開催。
- 5)参加ワーキンググループ (16団体、前回より7団体増)

東国史跡踏査団(P)、平塚の古代を学ぶ会(K)、古代生活実験室(T, Z)、石仏を調べる会(T, H)、民俗探訪会(T, H, K)、祭りばやし研究会(Z)、聞き書きの会(T, K)、古文書講読会(P, K)、裏打ちの会(P, K)、平塚の空襲と戦災を記録する会(P)、地域史研究ゼミ(P)、地球科学野外ゼミ(T, H)、生き物ズームプロジェクト(T)、天体観察会(T, Z)、流星観察会(P)、展示解説ボランティアの会(T, Z)

※()内は参加形態 T:展示, H:報告会, Z:実演, P:ポスター展示, K:見学会

6) 運営状況 近年の文化祭は参加団体の減少傾向が目立っていた。今年度の開催で25周年となる節目の年ということもあり、参加団体の増加を目指して近年参加していないWGを中心に意見聴取を行った。これにより①高齢化や少人数化による文化祭参加へのハードルの高さ(従来、文化祭への参加には実行委員としてWG内から一人選出することとしていたため)、②WG内で実行委員を長年引き受けてくれていた人がWG活動に来られなくなった際に引き継げなかった(中心人物の不在化)、③文化祭参加への関心のなさ、ということを問題として把握した。今年度は①の改善をすべく、実行委員会の開催数を減らすことや文化祭の参加形態に「ポスター展示」と「見学会」を新設することで各WGの積極的な参加を呼び掛けることとした。

参加WGのうち「展示」、「報告会」、「実演」に参加するWGから選出された実行委員で実行委員会を組織し準備と運営を行った。会期については、開館日数で18日間とした。開催告知用ポスターは、各ワーキンググループにデザインを募り、4グループ(石仏を調べる会、天体観察会、民俗探訪会、古代生活実験室が作成)からデザインが集まった。ポスターは市内の広報掲示板への掲示をはじめ、市内の小中学校と公民館、市外の図書館・博物館へ送付し行事の周知に努めた。パンフレットは A5 縦判 20 頁とし、白黒印刷で500 部印刷して博物館受付や特別展示室で配布するとともに、ポスターの発送時に同封して行事の周知に努めた。展示は、各W

Gの活動成果を実物資料や写真を交えて紹介した。展示参加WGは8団体(前回7団体)だった。展示会場には質問掲示板を設置し、観覧者が展示内容への質問や意見を質問用紙に記入してホワイトボードへ掲示、それをワーキンググループ会員または担当学芸員が回答して再掲示するというもので、質問と回答を全体で共有することを主な狙いとした。会期中に12件(前回23件)の質問が掲示され、回答はX(旧 Twitter)でも行った。

活動報告会は、3グループ(石仏を調べる会、民俗探訪会、地球科学野外ゼミ)が行い、55名が聴講した。

実演は5件(前回3件)で、祭りばやし研究会の「古民家でお囃子を聴こう!」は25名(前回19名)が観賞、天体観察会太陽分科会の「太陽黒点を見よう」は、延べ35名(前回27名)が参加、天体観察会プラネタリウム分科会の「会員によるプラネタリウム投影」は、2日間6回行い延べ84名(前回70名)が観覧した。古代生活実験室の「土器焼き見学会」は20名が参加、展示解説ボランティアの「ひらつかおもしろ話いい話」は18日間36回行い延べ201名の参加となった。

ポスター展示は、今年度のWG活動内容をA2サイズ用紙に簡単にまとめ、周知することを目的に新設した。前日までに準備を終えてくれればよいため実行委員会への参加は必須要件から外した。参加WGは5団体だった。見学会は、実際の通常のWG活動のようすを来館者に開放することを目的に新設した。これはWG活動の一部を文化祭準備にあてることに負担を感じたり、準備が大変で文化祭参加は難しいという意見を反映したものである。普段の活動をそのまま行ってくれればよいため実行委員会への参加は必須要件から外した。平塚の古代を学ぶ会、民俗探訪会、裏打ちの会は各4名ずつ、古文書講読会は2名、聞き書きの会の見学者はいなかった。会期中の入館者は3,534人(前回2,729人)、一日平均では168.2人(同136.5人)だった【表1】。

【表1】過去8年間の博物館文化祭入館者数

	大人	こども	計	日数	こども の割合	1日平均	参加 団体数
R6 年度(2025 2/7~2/27)	2,612人	922 人	3,534人	18日	26.1%	196.3人	16
R5 年度(2024 2/3~2/25)	2,074人	655 人	2,729人	20日	24.0%	136.5人	9
R4 年度(2023 2/4~2/19)	1,804人	668 人	2,472 人	14 日	27.0%	176.6人	8
R3 年度(2022 2/5~2/20)	1,396人	321 人	1,717人	14 日	18.6%	122.6人	7
R2 年度 開催中止	コロナ禍により開催中止						
R1 年度(2020 2/8~2/24)	2,269人	410 人	2,679人	15 日	15.3%	178.6人	10

H30 年度 開催中止		施設緊急修繕により開催中止					
29 年度(2018 2/4~2/18)	1,549人	485 人	2,034 人	14 日	23.8%	145.3人	12

7)展示ワーキンググループとタイトル

ワーキンググループ名	展示タイトル
古代生活実験室	「実験考古学―とにかくやってみた―」
聞き書きの会	「平塚に暮らして」
生き物ズームプロジェクト	「平塚市総合公園の四季」
地球科学野外ゼミ	「地球科学野外ゼミ近年の活動紹介」
石仏を調べる会	「平塚の石仏めぐり」
民俗探訪会	「廻り地蔵をめぐる民俗探訪会の1年」
天体観察会	「2024年度の天体観察会の取り組み」
展示解説ボランティアの会	ひらつか おもしろ話 いい話

8)活動報告会

2月8日(土)14時30分~15時40分

会場:講堂 参加者55人(前回57人)

時間	発表ワーキング グループ	発表タイトル	発表者
14:00	_	開会あいさつ	実行委員
14:05	石仏を調べる会	平塚の石仏めぐり	関根 武
14:35	民俗探訪会	平塚の世間話	岡部 盛敏
15:05	地球科学野外ゼミ	地球科学野外ゼミ近年の活動紹介	関沢 一夫
15:35	_	閉会あいさつ	浜野 達也館長

9)実演 当日整理券制 参加者 計365人 (前回は116人)

ワーキング グループ名	タイトル	日時	会場	人数
展示解説 ボランティアの会	ひらつか おもしろ話 いい話	期間中開館日 10:00 と 13:00	各展示 コーナー	201 人
天体観察会 太陽分科会	太陽黒点をみよう	2月15日(日) 10:00~10:45	屋上	35 人
祭りばやし研究会	古民家でお囃子を聴こう!	2月15日(土) 15:30~16:15	相模の家	25 人
天体観察会 プラネタリウム 分科会	会員によるプラネタリウム 投影	2月16日(日)と22日(土) 15:30~17:00	プラネタ リウム室	84 人
古代生活実験室	土器焼き見学会	2月22日(土) 9:30~16:30	屋外展示 場	20 人

10) 見学会

ワーキング グループ名	日時	会場	人数
古文書講読会	2月7日,14日,21日 いずれも金曜日、10:00~15:00	講堂	2 人
平塚の古代を学ぶ会	2月16日(日) 10:00~15:00	科学教室	4人
聞き書きの会	2月18日(火) 10:00~12:00	科学教室	0人
裏打ちの会	2月19日(水) 10:00~15:00	科学教室	4人
民俗探訪会	2月19日(水) 13:30~16:00	講堂	4人

11) 印刷物

・パンフレット: A5 判 20 頁 庁内印刷 500 部 ・ポスター: A3 判 庁内カラーコピー 400 部

12) 質問掲示板

揭示数:12件(前回23件)

(古代生活実験室)

- ・土器は個人でつくっていたのではなく集落の工房で分業でつくっていたのですか。集落はそのき ぼの環濠集落でしたか。また土器の焼窯はありましたか。
- ・見ているだけでも楽しそうです ところでカラムシの皮を干して何に使うのですか?
- ・首飾りを作ってありますが、集落等の首長クラスの者が権威を誇示するために装着していたと思いますか。臣連伴告国造百八十部公民奴婢等ある中でどの階層の人が装着していたものですか (天体観察会)
- ・天の川が見事なのですが、平塚からだとどの地域まで行けば見られますか?展示写真の撮影場所 もぜひ知りたいです。
- ・天の川、宇宙ステーションの写真はとても印象的です。地元でも見ることが出来るなんて素晴ら しいです。マニアだから見れることかもしれませんが。

(聞き書きの会)

- ・戦時中に英語の授業があったとは驚ろきです。どこの中学校ですか?他の中学校はどうなんでしょうか?当局からの圧力はなかったのでしょうか?
- ・(空襲)体験を聞ける人が減っていると思いますが、「聞き書きの会」とは内容が戦争に関するも のなら共有することはあるのですか。
- ・見出しに引かれて、身近なところでこんなことがあったと、感心しました。語り手が少なくなるこれから、本人だけでなく、親・祖父母など先人の語りも残しても良いのでは?

(平塚の空襲と戦災を記録する会)

・空襲や火事等で資料が紛失した時代の話は現状「聞き書き」のような口伝でしか伝える手段がないのでしょうか?

(石仏を調べる会)

- ・各地の公園等にある石仏案内 (説明板) に書いてある文章を、読みときたいのですがここで写真な どで読みときをしてはもらえませんか。
- ・活動報告会の発表もあわせて見ることで、石仏の意味がよく判りました。改めて石仏を見る時の 観察方法・ポイントはさすがです。

13) 来場者アンケート結果:

- ○回収枚数 10 枚(前回 15 枚)
- ○記入者の住所 平塚市内 6 人、平塚市外県内 4 人、県外関東地方 0 人、関東地方以外 0 人
- ○記入者の性別 男性 5 人、女性 4 人、未記入 1 人
- ○開催情報の入手(*複数回答有)

広報 ひらつか	博物館 HP	あなたと 博物館	新聞等	ポスタ	Пコミ	SNS	知らな かった	その他
1人	2人	1人	0人	1人	1人	0人	3人	2人

○満足度

興味深い	やや興味深い	ふつう	ややつまらない	つまらない
7人	1人	1人	0人	1人

○むずかしさ

とてもわかりやすい	わかりやすい	ふつう	ややむずかしい	とてもむずかしい
5人	3人	1人	1人	0人

○総合評価

とても良い	良い	ふつう	もう少し	良くない
6人	2 人	1人	0人	1人

○年代

~19 歳	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80 歳以上
2人	1人	3人	0人	1人	1人	0人	0人

<感想・ご意見>

・展示は毎回楽しみにしており、充実したものだと思う。成果の発表会も期待して参加したが、「民 俗探訪」の発表は改善の余地あり。調べたものをすべて発表したいという気持ちはわかるが、与え られた時間内で終了できるよう内容を精選して欲しい。中にはおもしろい内容もあったが、だら だらと長く、聞く者にとってもある意味苦痛だった。ジャンル別に分けて発表するとかの工夫も 欲しい。リハーサルはやったのでしょうか……?思いが強すぎ、聞く人の立場も考えて発表して いただきたい。

- ・火おこしの道具を見て、「やってみたい!体験してみたい!」と思いました。
- ・地域に根差した話は文書で残っているとは限らないため、実際に話を聞く、その土地に行ってみる、を行っているこの取り組みは素晴らしいものと感じました! (おはやしを残すのも) 中でも民俗探訪会の回り地蔵と康申請 (原文ママ) はとても興味深かったです。
- ・(活動報告会の)段取り悪すぎます。部屋が寒い。
- ・様々な活動が行われていることを知れたので、自分にとっても勉強になりました。地域と博物館 のつながりが強くて、社会教育が進んでいると思いました

14) プラネタリウム観覧者アンケート結果:

○回収枚数 46 枚(前回 50 枚)

<感想・ご意見>一部抜粋

- ・三者三様な題材、アプローチを楽しめました!とても素敵な試みをありがとうございます。
- ・会員による解説スバラシイです。次回も楽しみです。
- ・星座の大きさがよくわかりました
- ・コスモリアの投影が特に興味深かった。
- ・お子さんに分かるように制作するのは大事なことなんだと思いました。皆さん昨年より上手になっている 気がします。コンサートとか、また聴きたい
- ・恒星の一生について家に帰って調べてみます
- ・ゆったりしていて心がおちつきました!ありがとうございました。どれも面白かったです!またやってほしいです。
- ・始まる前や休憩時のピアノ音、とてもリラックスできてよかったです。みなさん、とても良く勉強されているのが伝わりました。星って、肉眼で見られる最短の距離はどれくらいなのでしょう。なぞが多く、未知の世界です。とても良かったので、年に数回開催してほしいです!!また来たいです
- ・平安時代の超新星爆発について、もっと教えて
- ・大盛況で良かったですね。ごくろうさまでした。皆さん、とても素人とは思えません。ブラボー!
- ・すごく楽しく拝見しました!今夜空を見上げるのが楽しいです
- ・皆さんそれぞれ個性があって、楽しく心地良く星座について知ることが出来ました。ありがとうございました。平塚市博物館プラネタリウムの会場の雰囲気も心地良くて好きです。子供の頃以来のこちらのプラネタリウムでしたが、これを機にまた来たいです。

●情報発信(ホームページと YouTube・SNS)

表1 平塚市博物館ホームページ訪問数

年度							訪問数						
十尺	4 月	5 月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3 月	総 訪問数
2021	25,188	32,612	30,572	32,833	28,436	27,063	27,293	27,166	25,422	13,412	20,205	22,316	323,563
2022	23,427	28,031	27,578	29,295	35,968	31,919	31,217	33,307	26,848	28,430	25,681	30,783	352,484
2023	26,548	36,108	27,282	31,296	36,062	30,517	37,744	25,131	20,710	25,642	22,100	24,558	343,698
2024	26,658	28,746	25,337	33,688	54,513	29,211	25,601	27,493	22,021	26,172	25,408		324,848

^{※ (}*斜体*はデータ消失のため、該当データを除く 2015~22 の平均値で補完)

2月末現在

表 2 平塚市博物館(HIRAHAKU)Youtube 視聴回数

年度					視聴	数(2018	8年3月	まで 66,4	450)				
+/文	4 月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11 月	12 月	1月	2月	3月	総 視聴数
2021	3,338	3,637	3,309	5,151	4,105	3,914	3,026	2,622	2,583	7,783	8,596	12,156	60,220
2022	9,288	9,957	9,449	7,976	9,550	7,259	6,133	5,372	4,973	6,111	6,805	6,710	89,583
2023	9,125	13,648	8,915	7,772	7,719	6,317	6,702	3,824	3,058	4,392	3,714	4,623	79,809
2024	5,056	5,849	5,894	6,237	8,042	7,572	5,686	4,412	3,695	3,879	4,473		60,795

開始 (2011/1/9) から 2025年2月末までの累計449,018

表 3 平塚市博物館 (HIRAHAKU) Youtube チャンネル登録者数

年度	チャンネル登録者数(2018 年 3 月まで 49)												
1 //	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10 月	11月	12 月	1月	2月	3月	総数
2021	53	39	40	78	68	34	22	16	15	106	112	248	831
2022	105	97	79	60	75	38	45	32	17	51	40	56	695
2023	75	120	61	26	24	35	44	24	10	30	30	38	517
2024	35	32	30	25	55	59	21	20	26	29	33		364

開始 (2011/1/9) から 2025 年 2 月末までの累計 2,849 人

表 4 平塚市博物館(HIRAHAKU)Youtube の毎月の視聴回数と累計チャンネル登録者数

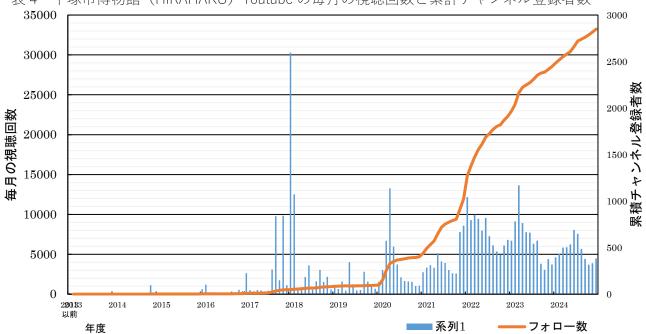


表 5「おうちで楽しむはくぶつかん」(HIRAHAKU) Youtube 視聴回数ランキング

	タイトル	公開日	R6 年度 再生回数	前回 順位	R2.3 からの 通算再生回 数	通算 順位
1	おうちでプラネタリウム(藤井大地 学芸員)	2020/4/18	6,780	1	41,466	1
2	5 分でわかる平塚学入門「どっこい神輿と甚句」	2022/7/29	4,987	2	15,450	2
3	5 分でわかる平塚学入門「伊勢原台地と伊勢原断層」	2022/1/14	3,671	3	9,697	4
4	5 分でわかる平塚学入門「フォッサマグナと平塚」	2022/7/22	1,922	4	4,141	11
5	5分でわかる平塚学入門「ローム層と火砕流がつくる地形」	2021/11/12	1,913	9	4,753	10
6	【モノづくりエイター】老眼鏡で月面クレーター観察	2021/9/8	1,594	5	4,135	12
7	5 分でわかる平塚学入門「プレート境界と相模川の成り立ち」	2021/5/21	1,255	6	4,117	13
8	5分でわかる平塚学入門「祭りばやしの伝統」	2022/5/27	1,215	7	3,782	17
9	5 分でわかる平塚学入門「関東大震災と平塚」	2022/8/26	923	_	3,742	18
10	5分でわかる平塚学入門「平塚はプレートの境界だった」	2021/5/21	879	_	6,161	8
	博物館モノ語 23「上ノ入遺跡の敷石住居址」	2024/9/27	856	8	856	_
	おうちでプラネタリウム(塚田健 学芸員)	2020/4/18	854	10	11,593	3
	5分でわかる平塚学入門「中原御殿」	2021/3/26	686		8,697	6
	2019 年 5 月 25 日夜に平塚から見たスターリンク衛星	2019/5/16	405	_	9,578	5
	鎌倉殿と平塚の七人 第1回_真田与一義忠	2022/1/23	29	_	7,761	7
	鎌倉殿と平塚の七人 第2回_岡崎四郎義実	2022/2/20	15		5,050	9

プラネタリウムプログラム (YouTube、YouTube ショート) プラネタリウムの投影プログラムを紹介するショートムービー

プログラム名	投影期間	再生 回数
一般向け番組「銀河鉄道に乗って」	7/20 ~ 9/1	544
一般向け番組「リフトオフ!ロケット打ち上げを見よう」	9/7 ~ 10/27	570
一般向け番組「月を詠み星を綴る〜王朝文学に刻まれた月と 星〜」	5/11 ~ 7/14	357
こども向け番組「すいせいゴエモンのぼうけん」	9/7 ~ 12/28	447

表 6 平塚市博物館(HIRAHAKU__) X (旧 Twitter) 2021/9/7 新規開設。令和 6 年度は 2 月末現在 663 ポスト発信。フォロワー数 2,741 人。



平塚市(公式)LINE

2021/7/26 から配信開始。概ね週1回投稿で、令和6年度は平塚市博物館の月間情報誌「あなたと博物館」の更新記事や各種行事の案内など39回の投稿を行った。登録者数25,131人(18,434人)。

「ひらはく展示+|運用統計

年月		期間日数	アクセス数	女		
			ユーザー	イベント数	新規 ユーザー	日平均/回
2023 年	度	226	938	4, 481	883	19.59
2024年	4月	25	112	599	100	23.96
	5月	21	123	676	108	25.04
	6月	14	111	697	98	26.81
	7月	20	102	435	94	16.73
	8月	23	86	448	77	16.59
	9月	21	102	637	93	25.48
	10月	22	64	273	58	10.11
	11月	26	65	268	60	10.31
	12月	24	90	453	83	18.88
2025年	1月	24	82	451	74	18. 79
	2月	24	70	322	65	13. 42
	3月	(26)				
1月末	まで	281	1,013	5, 259	910	18.74

『平塚市史 年表 第1版』を刊行したことを次のとおり報告します。

- 1 概要 平塚市制50周年記念事業として昭和57年より刊行開始今回、最後の配本として『平塚市史 年表 第1版』を刊行
- 2 体 裁 A4判 130ページ
- 3 印刷部数 800部
- 5 販売 令和7年4月1日(火)より一般向け販売(価格250円)

平塚市博物館受付で販売

他に郵送販売を実施

※郵送希望は、住所・氏名・電話番号・書名を記入し、書籍代金と送料を添えて 現金書留で、平塚市博物館へ

市内の図書館、公民館で閲覧可。

6 その他 平塚市史の記載を年代から探すための索引機能を持たせている 平塚市史に記載のない項目についても "歴史の流れ"をつかむために追加した 多くの市民・学生・生徒が入手し活用できるよう、庁内印刷で頒布価格を抑えた 情報の追加・更新を引き続き行うことを想定し "第1版"としている

令和7年度 平塚市 社会教育部予算

一般会計 計 社会教育部(職員給与費除く) 計	(単位:千円) 令和7年度当初 105,980,000 1,849,173	(単位:千円) 令和6年度当初 100, 250, 000 1, 729, 441	(単位:千円) 増減額 5,730,000 119,732
社会教育費(職員給与費除く)	1, 681, 715	1, 507, 327	174, 388
社会教育課・・・社会教育総務費	66, 989	55, 675	11, 314
中央公民館・・・公民館費	607, 254	755, 272	-148, 018
中央図書館・・・図書館費	522, 979	380, 221	142, 758
博物館・・・博物館費	92, 600	87, 626	4, 974
・・・市史編さん費	0	3, 127	-3, 127
美術館・・・美術館費	391, 893	225, 406	166, 487
保健体育費(職員給与費除く)	167, 458	222, 114	
スポーツ課・・・保健体育総務費	46, 948	46, 307	641
・・・体育施設費	120, 510	175, 807	-55, 297

令和7年度各事業の概要と予算

	事業名	事業概要	予算 (単位:千円)
1	博物館特別展事業 【実計】	学芸員が収集・調査・研究した成果を市民の知的共有財産とするため、特別展を開催し、その成果を分かりやすく具体的に展示します。令和7年度は、天文分野、地質分野、全分野総合の特別展を開催します。	5, 286
2	博物館教育普及活動 推進事業 【実計】	市民の生涯学習に役立てるため、体験学習、各種の講座、野外教育活動、プラネタリウム投影等を実施します。また、考古分野の遺物保存処理、生物分野の生物標本の製作等を進めます。	26, 746
3	博物館協議会事業	博物館の運営全般にわたる諮問及び協議を行う ため、博物館協議会を開催します。	173
4	博物館管理事業	博物館の安全かつ快適な施設環境を保持するため、施設の適切な維持管理を行います。新たに 市史資料の移送先として土屋幼稚園の施設管理 をします。	58, 576
5	博物館情報システム事業	市民に地域への関心を深めてもらうため、博物館が集めた平塚及び相模川流域に関する情報を広くインターネットで発信します。	1, 819
6	市史編さん事業	本市の歴史的発展過程を振り返り、郷土に対す る市民の関心を高めるため、平塚市史を編さん します。	0
		総計	92, 600

博物館 令和7年度歲出予算一覧

博物館特別展事業

14 100 KB 14 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	ታ <i>ሉ</i>			
費目	主な支出内容	R6予算	R7予算	前年度
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	486	575	89
旅費	調査・資料収集出張旅費	54	55	1
消耗品費	特別展示用消耗品	640	640	0
印刷製本費	図録等印刷代	3, 258	3, 266	8
通信運搬費	資料等運搬費	88	0	-88
委託料	特別展用看板・パネル等製作委託料	780	750	-30
原材料費	展示等作成用原材料	56	0	-56
	事業費計	5, 362	5, 286	-76

博物館教育普及活動推進事業

	又归到证些事未			
費目	主な支出内容	R6予算	R7予算	前年度
報償費	展示協力者・資料提供者謝礼	2, 375	2, 375	0
旅費	調査・資料収集出張旅費	239	277	38
	調査研究・展示・プラネ・OA機器消耗品等	1,051	1,081	30
印刷製本費	ポスター・出版物、写真DP等	1, 104	1, 154	50
物品修繕料	展示機器・プラネタリウム機器等修繕料	2, 790	2,611	-179
通信運搬費	寄贈資料等運搬費、アンケート調査郵送費	44	44	0
	行事参加者傷害保険料		55	55
委託料	資料等保存処理委託等(金属器・D52・剥製等)	1, 271	1,082	-189
使用料賃借料	プラネタリウム設備、OA機器リース料等	23, 237	17,623	-5,614
原材料費	展示等作成用原材料	49	56	7
備品購入費	研究活動用機材等	300	300	0
負担金	博物館協会等年会費等	88	88	0
	事業費計	32, 548	26, 746	-5, 802

博物館協議会事業

10 1000 100 100 100	T //\			
費目	主な支出内容	R6予算	R7予算	前年度
報酬	博物館協議会委員報酬	170	173	3
	事業費計	170	173	3

博物館管理事業

				.,,
費目	主な支出内容	R6予算	R7予算	前年度
報酬	会計年度任用職員	779	807	28
旅費	会計年度任用職員通勤手当	21	120	99
消耗品費	管理用事務用品等	448	410	-38
光熱水費	電気・ガス・水道代等	9,884	9, 278	-606
物品修繕料	備品等修繕料	300	300	0
施設修繕料	設備等緊急支出用修繕料、土屋収蔵庫利用に関す る修繕料等	1, 958	7, 837	5, 879
通信運搬費	電話・FAX代等	354	218	-136
手数料	各種設備法定検査費用(水質・煤煙)	55	55	0
保険料	建物総合損害共済分担金	68	74	6
委託料	施設管理委託料、市史編さん資料等移送業務委託	32,829	37, 423	4, 594
使用料賃借料	施設リース料(城島プレハブ)、博物館WIFIシステム賃借料等	1, 185	2, 054	869
	事業費計	47,881	58, 576	10,695

博物館情報システム事業

費目	主な支出内容	R6予算	R7予算	前年度
報償費	情報機器入力作業協力者謝礼	168	168	0
消耗品費	WEBシステム用消耗品	36	36	0
委託料	レンタルサーバ運用費(30費目変更)	119	119	0
使用料賃借料	WEB関連機器リース料	1, 342	1,496	154
_	事業費計	1,665	1,819	154

市史編さん事業

費目	主な支出内容	R6予算	R7予算	前年度					
報酬	会計年度任用職員報酬	1, 152		-1, 152					
職員手当等	会計年度任用職員期末手当	432		-432					
報償費	執筆協力者・資料整理協力者謝礼等	1,034		-1, 034					
旅費	会計年度任用職員通勤手当	15		-15					
消耗品費	事務用品等	311		-311					
印刷製本費	資料等印刷代	50		-50					
通信運搬費	図書館施設電話代	59		-59					
委託料	OA機器保守委託料(複合機)	74		-74					
負担金	県歴史資料取扱機関連絡協議会年会費	0		0					
	事業費計	3, 127	0	-3, 127					
	17 / 10	•							

展示

夏期特別展「(仮)月を目指せ!民間企業の月面開拓」では、民間企業による月面開発挑戦の現在を紹介します。秋期特別展では、地質分野の展示を行います。「第25回博物館文化祭」では、博物館で活動するワーキンググループの活動成果を展示発表します。春期特別展では、博物館開館50周年の記念展示を実施します。

1階寄贈品コーナーでは概ね月替わりで各分野のテーマ展や博物館学芸員実習生による企画展を開催します。2階情報コーナーでは特別展のダイジェスト展などを開催します。

特別展	春期特別	川展 「近代ひらつかの女性たち」(歴史)	2025	3月	22日	~	5月	18日
	夏期特別	川展「(仮)月を目指せ!民間企業の月面開拓」展(天文)	2025	7月	19日	~	9月	7日
	秋期特別	川展「(仮)丹沢の岩石・化石・鉱物」展(地質)	2025	10月	25日	~	1月	12日
	第25回	専物館文化祭 -ワーキンググループ展示・活動報告会・実演-	2026	2月	上旬	~	2月	下旬
	春期特別	川展「(仮)開館50周年記念」展(総合)	2026	3月	20日	~	5月	17日
寄贈品	生物	「みんなで調べよう「平塚のカマキリ」結果報告!」	2025	2月	7日	~	4月	6日
コーナー	考古	万田・五領ヶ台貝塚 発掘調査100周年記念展		4月	10日	~	5月	6日
	全分野	新着資料展(全分野)		5月	10日	~	6月	1日
	地質	(仮)「元素と鉱物」		6月	14日	~	7月	13日
	歴史	「平塚空襲」展		7月	16日	~	9月	4日
		博物館実習生による実習展示		9月	12日	~	9月	28日
	生物	未定		10月	2日	~	11月	3日
	天文	野尻抱影生誕140周年記念展		11月	7日	~	1月	12日
	民俗	漁業	2026	1月	15日	~	終期未	定
情報	民俗	ポスト特別展「お家をまわる神様・仏様」	2025	1月	18日	~	3月	16日
コーナー	天文	プラネタリウムを楽しみ尽くせ!		3月	20日	~	5月	18日
	歴史	ポスト特別展「近代ひらつかの女性たち」ダイジェスト		5月	22日	~	終期	未定
	天文	(仮)ロケット		8月	中旬	~	9月	下旬
	天文	(仮)ポスト特別展「月面開拓」		9月	下旬	~	1月	上旬
	地質	(仮)ポスト特別展「丹沢の岩石・化石・鉱物」		1月	下旬	~	5月	上旬
	総合	(仮)ポスト特別展「開館50周年記念展」ダイジェスト		5月	中旬	~	終期	未定

プラネタリウム

プラネタリウムの一般投影は、毎週土・日曜日と、春・夏・冬休み期間中の水・木曜日に、1日2回、70名の定員で実施します。特別投影等も実施する予定です。また、幼児団体投影・学習投影は予約制で水・木・金曜日の午前に実施します。特別投影の「星たちへの願い」は新シリーズです。

一般投影	一般向け投影	VTuber 星見まどかと探る太陽系の衛星のヒミツ	2025	2月	1日	~	4月	6日
	一般向け投影	月面探訪		4月	12日	~	6月	1日
	一般向け投影	フリートークプラネタリウム		6月	21日	~	7月	13日
	一般向け投影	夏の大三角形のひみつ		7月	19日	~	8月	31日
	一般向け投影	星月浮世~描かれた月と星		9月	6日	~	10月	26日
	一般向け投影	星は巡る ~星の文人・野尻抱影が見つめた星空		11月	1日	~	12月	28日
	一般向け投影	2026年の天文現象	2026	1月	4日	~	2月	1日
	一般向け投影	火星探査機が見た景色		2月	7日	~	4月	5日
	幼児向け投影	タケルくんひるとよるはどうしてあるの?	2025	1月	4日	~	4月	5日
	幼児向け投影	おほしさまだいすき!サンとムーン		4月	12日	~	8月	30日
	幼児向け投影	サンとムーン2 まいごのおほしさま		9月	6日	~	12月	27日
	幼児向け投影	未定	2026	1月	10日	~	4月	4日
特別投影	星空散歩(全	6回、偶数月、月初の土または日、)	2025	4月		~	2月	
	「ひらはくオーバ	レスターズ」(5月・9月・1月の月初の土または日、3回)			5月	~	1月	
	星空タイムトライ			12月	6日	+	1回	
•		18 / 19						

特別投影	星たちへの願い(全4回) 6				3月	15日
	星空音楽館(全4回)	2025	4月	~	1月	
コンサート	プラネタリウム・コンサート		未定			

各種普及行事

申込制	考古	体験学習「昔の方法で火を起こそう」	2025 4月 27日
行事	与白	体験学習「カラフルな勾玉をつくろう」	8月
11 		考古学入門講座(3回)	9月 ~ 12月
	民俗	石仏めぐり	2025 11月 3日
	风旧	体験学習「お飾りをつくろう」	12月 21日
	地質	地質学最新研究講座	5月 24日
	心只		10月~ 2月
		体験学習「化石レプリカをつくろう	2025 7月 27日
	生物	自然教室(6回)	2025 4月 ~ 3月
	1/3	体験学習「手羽先骨格標本をつくろう」	7月 30日
		キノコの観察会	10月
	天文	星を見る会(10回)	2025 4月 ~ 3月
		天文学入門講座「変な星たち」全6回	6月 29日 ~ 12月 14日
		最新天文学講座(2回)	未定
		月面ローバー操縦体験	7月 23日
		プラネタリウムを操作してみよう	未定(夏)
-	総合	こどもフェスタ	2025 4月 26日 ・ 4月 27日
	1,5.	(仮)こども博物館学講座	9月 ~ 3月
自由参加	歴史	郷土史入門講座(3回講座)	2026 1月 ~ 3月
	民俗	ろばたばなし	2025 月1回 日曜日
		学芸員が語る「相模の家のくらし」	原則 ろばたばなしと同日
		「館長の民俗学入門」講座	5月 ~ 2月
•	地質	地球科学入門講座	2026 1月 ~ 3月
		化石ペーパークラフトをつくろう	2025 6月 ~ 8月
	天文	体験学習「不思議な板で万華鏡を作ろう」(4回)	未定
会員制	考古	平塚の古代を学ぶ会	毎月1回水曜日
行事		古代生活実験室	毎月1回木曜日
		東国史跡踏査団	毎月1回土曜日
	歴史	古文書講読会	毎週金曜日
		裏打ちの会	毎月1回水曜日
		平塚の空襲と戦災を記録する会	毎月1回土曜日
		地域史研究ゼミ	毎月1回土曜日
	民俗	石仏を調べる会	毎月第二第四木曜日
		民俗探訪会	毎月第三水曜日
		祭りばやし研究会	毎月1回土曜日
		聞き書きの会	毎月第二火曜日
	地質	地球科学野外ゼミ (野外6回、室内5回)	毎月1回±or日曜日
	生物	生き物ズームプロジェクト	毎月1回日曜日
	天文	天体観察会	毎月1~2回土・日曜日
		流星観察会	毎月1~2回土・日曜日
	総合	展示解説ボランティアの会	定例会、毎月1・3木曜日

その他の全館的事業

館内のくん蒸・消毒に伴う休館(予定)	2025	6月	3日 ~	6月	12日
博物館実習	2025	9月	3日 ~	9月	11日